

以下は最新バージョンの仕様です。旧バージョンは一部仕様が異なる場合があります。

パソコン用とモバイル用の2種類のメール書式に対応しています。

本文中に「◆ ご注文番号」という文字列が含まれていればパソコン用、含まれていなければモバイル用と判断されます。また、届け先が複数件の場合と1件のみの場合で書式が異なります。

本文中に「◆ お届け先1」が含まれていれ複数件、含まれていなければ1件のみと判断されます。

## 1. 取込対象メールの判断基準

件名に「ご注文ありがとうございます（自動送信メール）」という文字が含まれているメールが取り込み対象となります。

## 2. 注文メール取込設定

メールフィルタ：「ショップサーブ」メール取り込みフィルタ

### ① 依頼主

[自動取得と自動採番]を選択した場合、メールの[ご注文者]のお名前とお電話番号をもとに宅配管理プレミアムのお客様情報を検索し、該当データがあれば、お客様番号を取得します。依頼主名、電話番号、郵便番号、住所等はメールの[ご注文者]の内容を注文データにセットします。該当データがなければ、新規のお客様としてお客様登録にデータを作成し、注文データにセットします。尚、お客様登録の郵便番号や住所とメールの郵便番号や住所が異なる場合、お客様登録は上書きされませんので、必要に応じてお客様登録を修正してください。

### ② 請求先

メール内に請求先情報はありませので、[依頼主と同一]もしくは[固定値利用]を選択してください。

### ③ 届け先

[自動取得と自動採番]を選択した場合、メールの[お届け先]のお名前とお電話番号をもとに宅配管理プレミアムのお客様情報を検索し、該当データがあれば、お客様番号を取得します。届け先名、電話番号、郵便番号、住所等はメールの[お届け先]の内容を注文データにセットします。該当データがなければ、新規のお客様としてお客様登録にデータを作成し、注文データにセットします。尚、お客様登録の郵便番号や住所とメールの郵便番号や住所が異なる場合、お客様登録は上書きされませんので、必要に応じてお客様登録を修正してください。

### ④ 商品

メールの品番と宅配管理プレミアムの商品コードが共通の場合は、商品番号を商品コードとして取り込みます。共通でない場合は、事前に商品登録にメール取り込み用の商品を作成し、商品コードでその商品を選択してください。商品名、単価、数量、金額はメールの内容を取り込み可能です。

### ⑤ 配達希望日、配達希望時間

メール内のお届け希望日、お届け希望時間を取り込み可能です。お届け希望日は月日しかないため、年は取り込み時の年をセットします。ただし、お届け希望日の月日が取り込み時の月日より前の場合は翌年をセットします。

### ⑥ 送り状種類

メール内に送り状の項目はありませんので、[固定値利用]をチェックし、宅配管理プレミアムで使用する送り状を選択してください。

### ⑦ クール利用

メール内にクール利用の項目はありませんので、必要に応じて固定値の変更を行ってください。

⑧ 送料

メール内の送料を取り込み可能です。

⑨ 摘要

お届け先にあるラッピングの内容を摘要にセットすることが可能です。  
その場合、メール取込設定で「取込元」に[お届け先]ラッピングを設定してください。

⑩ のし

メール内ののしで宅配管理プレミアムののし登録の名称を検索し、該当データがあれば注文データののしにセットします。  
その場合、メール取込設定で「取込元」に[配送先情報]のしを設定してください。

⑪ 受付日

メール内のご注文日時を取り込み可能です。未設定の場合は、当日がセットされます。

3. その他

- 注文メモにはメール内のご注文番号、お支払方法をセットします。  
また、ご注文者にある通信欄(ご指示等ございましたら、お気軽にお申し付け下さい。など)に記載がある場合は、注文メモに「備考あり」と表示されます。
- お届け先ごとの通信欄は取込対象外です。
- お届け先にあるラッピングの料金は商品として登録されます。
- ご注文内容の手数料は商品として登録されます。
- 各種手数料は商品コードを固定値で設定している場合は、同じコードが登録されます。  
メールの品番を設定している場合は、商品コードは998で登録されます。